# がんプロフェッショナル紹介

## 消化器外科（大腸チーム）

丸山　聡

患者さん一人ひとりに寄り添いながら、専門性を活かしてがん医療を支えるスタッフや診療科をご紹介します。
今回は消化器外科（大腸チーム）の紹介です。

### がん専門病院の充実した診療体制と多職種が連携したチーム医療

このたび、2026年版**『大腸癌治療ガイドライン』**が改訂され、大腸がん診療にはこれまで以上に高度で専門的な診療体制が求められています。当院では、ガイドラインで推奨される先進的な診断・治療体制を整備するとともに、多職種が密接に連携したチーム医療のもと、患者さん一人ひとりの病態に応じた最適な診療を提供しております。

## ガイドライン改訂に対応する当院の強み

### ロボット支援手術と腹腔鏡手術

大腸外科スタッフ６名全員が日本内視鏡外科学会技術認定医です。可能な限り低侵襲な腹腔鏡手術かロボット手術を行います。特に直腸がんでは、ロボット手術の3D視野と精密な操作により骨盤内の狭い空間でも、排尿・排便・性機能を温存する高精度な手術を安全に提供します。

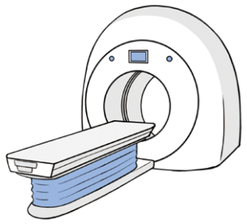


### 側方リンパ節郭清

再発リスクの高い cT3 以深の下部直腸がんに対して、手術難易度の高い側方リンパ節郭清を、豊富な手術経験に基づき安全かつ確実に実施します。

### 化学放射線療法

当院は高性能な放射線治療装置を完備し、放射線治療専門医をはじめとした専門スタッフが対応し、質の高い化学放射線治療を提供します。局所再発リスクの高い直腸がんの術前治療、あるいは肛門管扁平上皮がんが適応になります。



### TNT（強力な術前治療）と NOM（非手術管理）

欧米では普及していますが、まだ解決すべき問題もあり、本邦のガイドラインでは推奨されていません。日々アップデートされる最新の知見を踏まえ、個々の患者さんに応じて検討します。

### がん遺伝子パネル検査と個別化医療

分子標的薬や免疫療法の選択肢拡大に迅速に対応します。治療経過中の遺伝子学的評価に基づき、一人ひとりに適した最適な薬物治療を行います。

### 肝転移・再発に対する集学的治療

根治切除が可能な患者さんには積極的に肝切除を行います。また、初診時に切除困難と判断されても、薬物療法や肝切除、焼灼療法などを組み合わせた集学的治療によって生命予後の改善を目指します。

## 当院の治療体制と実績

### 手術に限らない最適な大腸がん治療の選択

消化器内視鏡専門医、放射線治療専門医、がん治療認定医、緩和ケア専門医など各分野のエキスパートが揃っており、それぞれの患者さんに最適な治療を提供します。

### 多職種連携による全人的な生活支援

がん専門ナース、WOC ナース、MSW、薬剤師、栄養士、緩和ケアチームが密に協働します。就労、ストーマ管理、心理的不安など退院後の生活まで手厚く伴走します。

### JCOG（日本臨床腫瘍研究グループ）大腸がんグループのコアメンバー

最新のエビデンスを日常診療へ取り入れるとともに、臨床試験や治験にも積極的に参加し、患者さんへより多くの治療選択肢を提供しています。

### 大腸がん手術実績（2025 年実績）

| 治療術式区分 | 件数 |
|---|---|
| **全身麻酔下手術件数** | **295 件** |
| **初発大腸がん手術** | **212 件** |
| ●ロボット支援手術 | 99 件 |
| ●腹腔鏡手術 | 97 件 |
| ●開腹手術 | 16 件 |



ロボット支援手術



腹腔鏡手術

### ロボット支援大腸がん手術実績

2022年11月～2026年6月：**累計 300 件**を施行
2025年実績：**99 件**（新潟県内最多※大腸がん全体）




今後も地域の先生方と連携しながら、患者さんにとって最善の大腸がん診療に努めてまいります。大腸がんが疑われる患者さんや診療でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、診断が確定していない段階でも構いませんので、どうぞお気軽にご紹介・ご相談ください。